

## 4. 応募から採択へ

### 4.1 研究 Grant・・・「国際共同チーム」への研究費の助成事業

#### (1) 応募要項

研究 Grant には、「プログラム・Grant」と若手研究者のみから構成されるチームに限定した「若手研究者 Grant」があります。

#### 【プログラム・Grant】

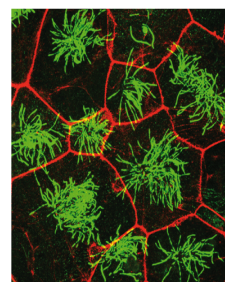
独立した科学者のチームに与えられ、科学者のキャリア段階は問いません。科学者のチームは共同作業を通じて新しい研究分野を開発することが望まれます。又、若手の独立した研究者の参加を奨励しています。優先されるのは、生命科学分野の基礎研究として革新的な研究プロジェクトであり、その場合、予備的な結果は必ずしも必要とされません。申請者は各チームのメンバー数に応じて、チーム全体として最大 45 万ドルまで申請できます。

#### 【若手研究者 Grant】

メンバー全員が独立した研究室を与えられて 5 年以内の研究者（准教授、講師、助教またはそれに同等の研究者：（ご注意）ポスドクはメンバーとなることはできません）、また博士号取得後 10 年以内の研究者から成るチームに与えられます。若手研究者 Grant の申請は、プログラム・Grant への申請とは別に審査されます。2006 年度助成分から申請額はプログラム・Grant に準じた額となりました。

#### ◆ 研究 Grant 受賞研究例

- 『プラスモディウムとヒトゲノム共進化の分子、統計、バイオインフォマティクス解析』
- 『真核生物のリボソーム、eIF3、転写開始複合体とそのダイナミクスにおける構造解析』
- 『軸索誘導と細胞シグナルの調節における HSPG の構造と機能の in vivo 解析』
- 『野生型と遺伝子改変 Drosophila における活動処理経路と自由飛行制御の解析』
- 『Ca<sup>2+</sup>シグナル系における特異性制御の理解に向けたシステムバイオロジー手法』
- 『シナプスタンパクによるキネシンの活動制御：シナプス形成への関与』
- 『ニュートロン分散データに特徴的な分子クリスタル構造決定の新しい手法』
- 『植物と環境：体系的なシグナルと病原菌に反応する標的遺伝子ネットワーク』
- 『poly-ADP リボシル化の記憶における分子メカニズム』
- 『哺乳類における分化した嗅覚系の役割』
- 『細胞骨格から細胞形態へ：細胞成長のマルチスケール制御』
- 『HPAA により誘導される細胞間プロテアーゼシグナル』
- 『遺伝子発現と機能のエピジェネティックプログラミング』
- 『感覚皮質における神経ネットワークの組織と機能』
- 『人の知覚における連想的学習』
- 『動的なタンパク質のアルミトイル化に対する分子メカニズム』



#### (2) 応募資格

2ヶ国以上の研究者、原則として1ヶ国1名、合計2~4名からなる国際共同研究チームを対象とします。ただし、研究代表者は本プログラムの運営支援国の研究者に限られます。

#### 【プログラム・Grant】

チームメンバー全員が独立した研究を立ち上げ、管理できる地位にあること。

所属する研究室に責任を持ち、独立した研究者であることを証明できること。博士課程修了者（ポスドク）は、プログラム・Grantに応募することはできません。

### 【若手研究者グラント】

チームメンバー全員が独立した地位（下記参照）を与えられてから5年以内であること、かつ趣意書の提出期限から10年以内に博士号または同等の学位を取得していること。

- a. 独立した地位とは、通常は「准教授」、「講師」、「助教」またはそれと同等の身分を指します。所属する研究室の日常の運営に全責任を負い、HFSP が提供する資金を自身で管理できることが応募資格となります。
- b. すでに上級職に就いている研究者は、5年以内という応募資格を満たしている場合も、若手研究者プログラムに応募することはできません。ただし、プログラム・グラントに応募することは可能です。
- c. 博士課程修了者（ポスドク）は、若手研究者グラントに応募することはできません。

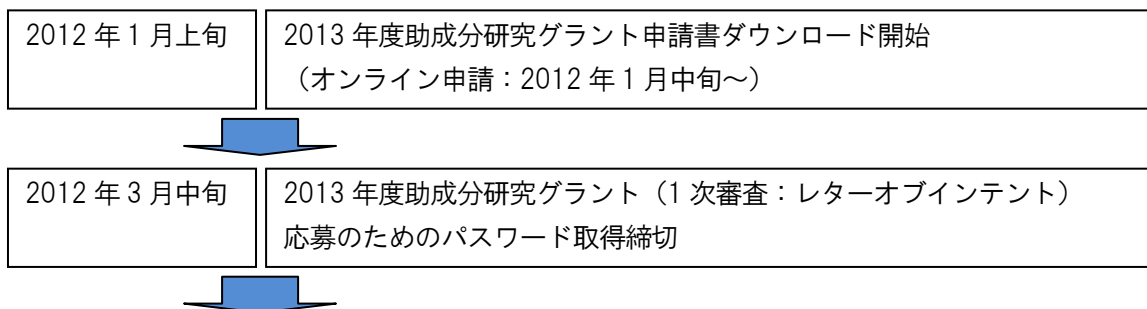
### (3) 申請方法（2012年度分助成の例）

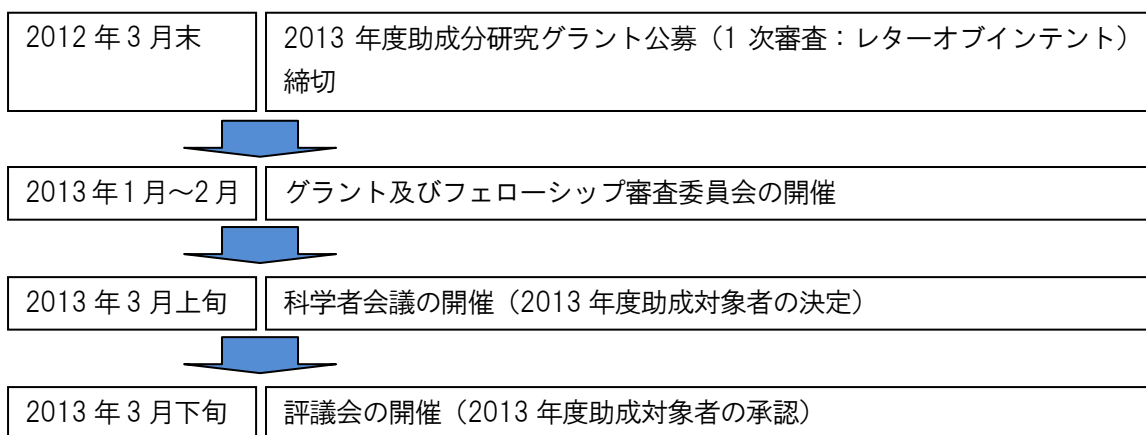
期限：  
パスワードを取得するための事前登録：2011年3月22日  
趣意書の提出：2011年3月31日

グラントを申請する際は、下記の手順に従い、まずオンラインで「**趣意書 (Letter of intent)**」を提出してください。申請の主な手順は以下の通りです。

- ① 研究チームのメンバーの1人を申請代表者に指名します。申請代表者は趣意書を最終的に提出する責任を負います。チームが正式な申請書の提出を認められた場合、当該チームの申請代表者は申請およびグラントの支給に関するすべてのやり取りを担当することになります。申請代表者となるメンバーは、加盟国に所在する研究機関を第一の所属先とする者でなければなりません。
- ② チームを編成する際には、申請代表者はチームメンバーが別の申請の申請代表者または共同申請者となっていないことを確認してください。
- ③ 申請代表者は必ず、HFSP のエクストラネットで登録を行ってください (<http://extranet.hfsp.org> 2011年1月中旬からアクセス可能)。登録が完了するとパスワードが発行され、オンライン申請書とオンライン申請に関する詳細な説明にアクセスできるようになります。趣意書の提出を真剣に決意したチームは、直ちに登録を済ませるようにしてください。
- ④ 趣意書の提出期限は2011年3月31日です。一旦提出した趣意書は修正できません。
- ⑤ チームが正式な申請書の提出を認められたかどうかは、7月初頭までに申請代表者に通知します。正式な申請書の提出期限は2011年9月中旬となります。

### 2013年度分助成の申請スケジュール





#### (4) 審査・採択

##### ①審査方法

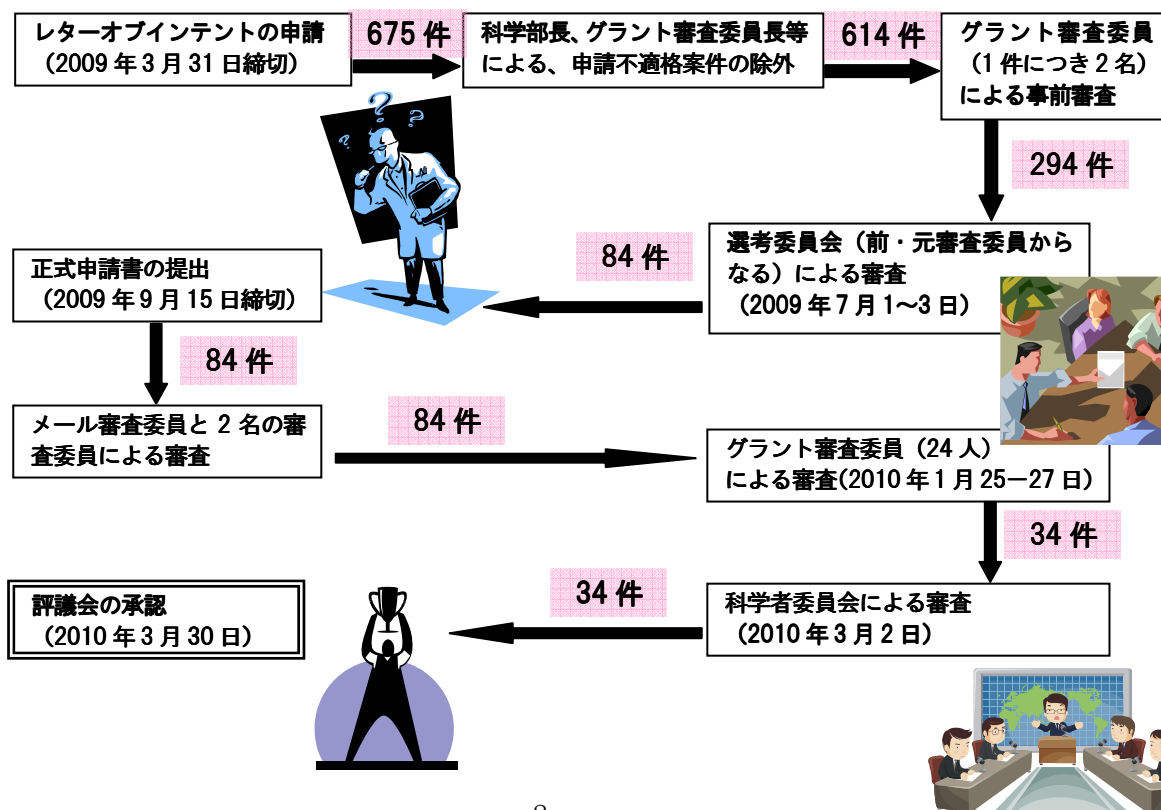
ピアレビュー方式による審査を行っています。本分野における世界の第一線の科学者から構成される審査委員会およびメール・レビューにより、審査が実施されます。審査委員会として、研究 Grant 担当の委員会とフェローシップ担当の委員会が設置されています。

##### ②審査対象

助成対象の審査の重要な選定基準としては、科学的見地からの研究の「質の高さ」、「学際性」、「大陸をまたがるような国際性」および「研究協力の必要性」などがポイントとなります。また、フェローシップの場合は、「質の高さ」等は勿論ですが、「新しい研究分野への転換」についても併せて審査されます。

##### ③2010年度の審査例

##### ◆2010年度研究 Grant 審査過程



## 4.2 フェローシップ・・・若手研究者が国外で研究を行うための旅費、滞在費等の助成事業

### (1) 応募要項

#### 【長期フェローシップ】

生物学の博士課程終了者が外国の優れた研究室で、現在の研究分野とは別の新しい研究分野へ移ることを目指した訓練を受けられるように助成する事業です。

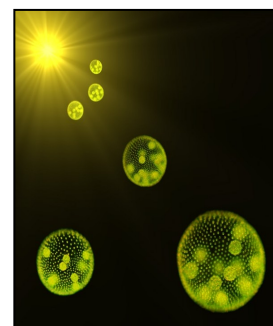
#### 【学際的フェローシップ】

2005 年度助成分より開始の制度で、生命科学分野以外（物理学、化学、数学、工学等）の若手研究者が、国外でさらに生命科学分野の研究を行うことを支援する助成事業です。

博士課程修了者を対象とするフェローシップの申請者には、海外で研修を積む一方で、専門分野の大きな方向転換を図り、新しい研究分野に進出することが期待されています。

#### ◆ 長期フェローシップ受賞研究例

- 『ヒストン修飾パターンのクロマチン活動に及ぼす影響解析』
- 『Drosophila 卵形成における細胞間の細胞質輸送機構の遺伝的制御』
- 『NMDA 受容体依存的シナプス伝達の長期抑制にかかるメカニズム』
- 『有糸分裂時における中心体へのタンパク集合に関わる遺伝子同定』
- 『分離した神経堤派生細胞において Pax3 により制御される遺伝子同定』
- 『myc 誘導型造血器悪性腫瘍における mnt 遺伝子の役割研究』
- 『S.cerevisiae におけるテロメア伸張の in vivo 制御因子同定』
- 『造血幹細胞と in vivo ニッチ間の動的相互作用の同定』
- 『RNA ポリメラーゼ II 開始複合体の構造決定』



### (2) 応募資格

博士号取得後3年以内の研究者を対象とします。

①加盟国（下記参照）のいずれの出身でもない申請者が選択できるのは、加盟国内の研究機関のみに限られます。

加盟国出身の申請者は、どの国の研究機関でも申請することができます。

加盟国出身者とは、以下の HFSP0 加盟国のいずれかの国籍を有するということです。

オーストラリア、オーストリア、ベルギー、ブルガリア、カナダ、キプロス（EU加盟部のみ）、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、フランス、ドイツ、ギリシャ、ハンガリー、インド、アイルランド共和国、イタリア、日本、韓国、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルグ、マルタ、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、ルーマニア、スロバキア、スロベニア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国

②フェローシップ開始時点で、博士号 (Ph.D)、またはそれに相当する基礎研究活動経験を有するとともに博士号に相当する学位（例えば研究活動を中心とする医師資格もしくは医学博士号）を有していることが条件となります（ただし、申請の時点では必須ではありません）。

③申請者は、2011年9月8日時点で、申請者が主執筆者となっている論文を最低でも1点、査読が行われる国際的な学術誌に発表したことがあるか、現在印刷中、または掲載受理されていることが必要です。

(3) 申請方法 (2012 年度分助成の例)

HFSP フェローシップの応募期限は、毎年 1 度のみです。

申請書は、年 1 回の期限に間に合うように HFSP ウェブサイトから提出しなければなりません。申請書提出用ウェブサイトは、2011 年 6 月末または 7 月初めまでに <https://extranet.hfsp.org> 内に開設されます。

過去に選考に漏れた申請者も、すべての資格要件を依然として満たしているのであれば、複数回申請することができます。

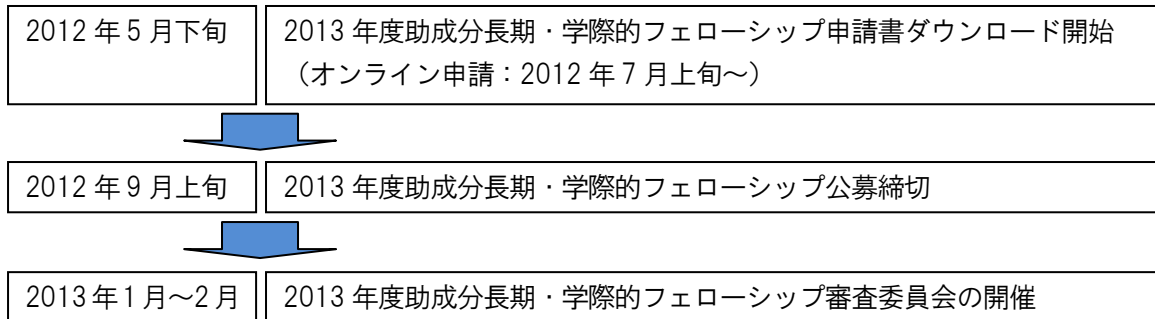
パスワード登録およびオンライン申請手続き開始の期限は 2011 年 8 月 25 日です。

2012 年助成分の申請書提出期限は、2011 年 9 月 8 日のフランス時間深夜 0 時です。

申請書の提出に先立ち、申請者が主執筆者になっている出版物の PDF ファイルを、最高 6 件までアップロードしてください。印刷されていない原稿あるいは印刷中の原稿はアップロードしないでください。また出版物のペーパーコピーを郵送することもおやめください。

フェローシップ提案を提出する申請者は、その出版物リストを 2011 年 12 月 1 日まで、HFSP ウェブサイトにて更新することができます。2011 年 11 月中には、提案書に出版物のタイトルを追加することが可能になります。既にオンラインで提出済みの情報と重複してはなりません。

2013 年度分助成の申請スケジュール



<p>長期フェローシップ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・始めに 1 件当たり 2 名の審査委員が事前に審査し、これを踏まえランク付けを行う。</li><li>・2012 年度助成分は、1 月の審査委員会で 76 件採択。</li></ul> <p>学際的フェローシップ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事務局による資格審査の後、長期フェローシップと同様に 2012 年度助成分は、1 月の審査委員会で 9 件採択。</li></ul>
--

(4) 審査・採択

すべての提案は、最初に特別科学委員会により、応募資格および申請研究テーマが HFSP フェローシッププログラムの科学的目的に沿ったものであるかについて審査されます。本募集要項の主要要

件を満たしていない申請は、審査に回されることはなく、申請後速やかに申請者にその旨通知されます。この言わば「選別」手順は、HFSPの科学理事2名とフェローシップ審査委員会委員長が行い、最終判断を下します。

第2段階では、要件を満たしている申請がそれぞれ、2人の審査員によって、以下の基準に基づいてカテゴリ一別に評定されます。

- ① 研究提案の科学的オリジナリティと革新的な性質に基づいた、フェローシップの指導上の可能性。いずれのフェローシップについても、これまでの研究からの大きな方向転換が見られるものが高く評価されます。
- ② キャリアステージと研究分野の面において、過去および現在のチャンスに鑑み実際の申請者の業績と将来性
- ③ 受入先とその環境の質
- ④ 申請者から提供される動機、目標、成果に関する情報

HFSPでは、上に列挙した個々の選定基準に対して、比率による重み付けは行いません。最終審査では各基準について等しく評価されます。「傑出 (outstanding)」した申請であるという評価を受けた申請のみにフェローシップが認められます。それに次ぐ「優秀 (accomplished)」という評価の場合は、資金的に余裕がある場合にのみ助成の対象となります (下記の表を参照)。

評定	ランク	評価基準
outstanding 傑出	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規かつ革新的で質の高い研究プロジェクトが申請者によって提案され、書面化されている</li> <li>・プロジェクトに画期的なアプローチが採用されており、ハイリスク/ハイリターンの研究である</li> <li>・卓越した申請者</li> <li>・テーマ、技術、種/研究システムの点において、これまでの研究からの大きな方向転換が見られる</li> </ul>
accomplished 優秀	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究プロジェクトの質は高いが、完全なオリジナルではない (研究室プロジェクト)、もしくは革新的ではない</li> <li>・プロジェクトに標準的なアプローチが採用されている、もしくは当該分野、あるいは受入研究室における現行研究にとって、明らかに次のステップとなる内容である</li> <li>・非常に優れた申請者</li> <li>・研究方向性の変化の度合いが小さい (例: 同一の種/研究システムに新規の技術を適用する、博士課程あるいはそれまでのポストドクプロジェクトの延長)</li> </ul>
solid 良	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的に十分な質 (研究室プロジェクトの延長)</li> <li>・型通りのアプローチを採用した標準的なプロジェクト</li> <li>・研究方向性の変化がほとんどない、あるいは皆無である (博士課程プロジェクトの延長)</li> </ul>
weak 不可	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的に不備がある、あるいは不適切なプロジェクト</li> </ul>

第3段階では、高評価を得た申請をまとめた候補リストを、3日間のパネルミーティングで協議します。審査委員会の最終協議で候補に残らなかった申請者には、2012年1月末にその旨が書面で通知されます。その他の申請者には、2012年3月末までに審査結果が書面で通知されます。

合格者のリストは、4月初めにHFSPのウェブサイト公表されます。審査過程は非公開です。申請の評定や選定から外された理由などに関する情報も通知されません。

HFSPフェローシップ委員会は、特定の受入研究所で実施される具体的な研究プロジェクトに基づいて提出された提案を審査します。従って、選考プロセス中の研究プロジェクトや受入機関に関する変更は認められません。

### 4.3 CDA・・・帰国後の支援

#### (1) 応募要項

長期または学際的フェローシップを受けている、あるいは受けたことのある研究者が、母国において独立したポストに付き、研究活動を行い活躍することを促進するものです。

受賞研究例：

(グリア細胞における軸索剪定の分子メカニズム)

(シロイヌナズナにおける細胞特定化と細胞極性を制御する分子メカニズムの解明)

#### (2) 応募資格

2004年以降の長期または学際的フェローシップを2年以上受給した研究者を対象として、フェローシップ開始2年目以降から終了後2年以内の方

#### (3) 申請方法 (2011年度分助成の例)

① CDA申請受付は年1回です。

候補者はHFSPの申請用ウェブサイト (<http://extranet.hfsp.org>) からオンライン申請してください。

② 別々の審査員から2通の推薦書を提出してもらう必要があります。これは提出書類の一部です。推薦書のオンライン提出のために審査員にもパスワードが発行されます。

③ 候補者はオンライン申請をする前に、過去のHFSPフェローシップの成果として公表されたあるいは現在印刷中、または提出済みの出版物のPDFファイルもアップロードしてください。

④ 申請書受付締切日は2010年10月14日です(仏・ストラスブールの時間で午前0時をもって締め切りとします)。

⑤ CDAで研究活動を実施する予定の研究機関における申請者の採用を確認する書簡については、(申請時に入手可能な場合は)2011年1月31日までに提出してください。本国での採用が未定の申請者については、CDA支給開始までに提出しなければなりません。

提出先：	HFSP(CDA) 12 Quai Saint-Jean BP 10034 67080 Strasbourg Cedex France
------	---

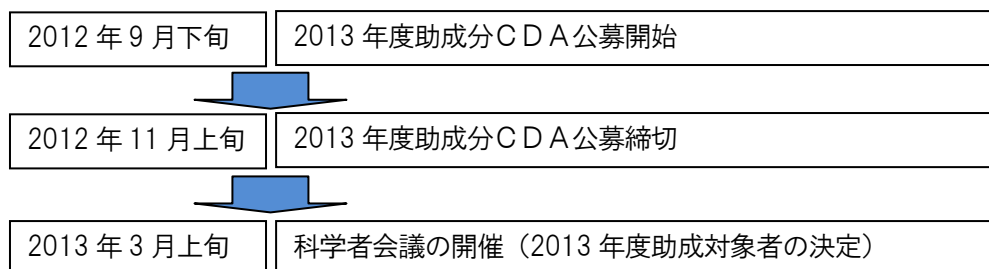
#### ⑥ 出版物の最新情報

候補者は、提出期限後に出版された、あるいは出版が決まった、またあるいは10/14以降提出済みの論文については、HFSP0 に連絡することができます。出版物リストの最新版提出の締め切りは2011年1月31日です。

#### ⑦ 住所変更通知

申請書提出後に住所やe-mail が変更になった場合は、早急にフェローシップ事務局まで連絡してください。

#### 2013年度分助成の申請スケジュール



#### (4) 審査・採択

申請は最初事務局で選考され、その後、HFSP0 加盟国の上級科学者と外部メール審査員で構成されるHFSP0 科学者会議において審査されます。本募集要項の主要要件を満たしていない申請は、審査を受けることはありません。その場合、申請締め切り後間もなく申請者に通知されます。

要件を満たしている申請は、以下の事項に基づいて審査されます。

- ① キャリアステージとこれまでの研究環境を考慮した上での申請者の業績と将来性。
- ② 特にHFSP フェローシップ受給期間中の申請者の研究成果、および国際的な共同研究を継続するに当たっての申請者の専門的目標と計画
- ③ 提案されている研究プログラムの科学的独創性と質
- ④ CDA 研究プログラムを実施するホスト研究機関の選定

2011年4月初めに、審査結果通知書が申請者に送付されます。今回は5~10件前後のキャリア・ディベロップメント・アワードが支給されます。

落選した申請者に対しては、審査結果とともに科学者会議メンバーおよび外部メール審査員による審査短評が記載された通知書が送付されます。



#### 4.4 受賞者会合・・・受賞者の国際的な研究集会

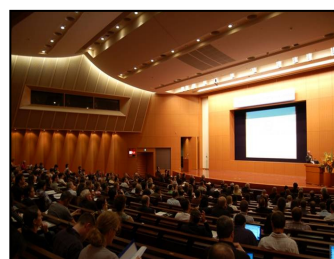
受賞者会合は、HFSP のグラント、フェローシップを一定の年度に受けた研究者が一同に会し、講演、ポスターセッション等を行う会合です（年1回開催）。これまで、トリノ（イタリア）（2001年）、オタワ（カナダ）（2002年）、ケンブリッジ（イギリス）（2003年）、箱根（日本）（2004年）、ベセスダ（アメリカ）（2005年）、パリ（フランス）（2006年）、サザンコースト（オーストラリア）（2007年）、ベルリン（ドイツ）（2008年）で開催されました。また、2009年6月には東京にて第9回受賞者会合、およびHFSP設立20周年記念式典が開催されています。受賞者会合は、各国受賞者の情報・意見交換の場として評判が高く、年々参加者数が増加する傾向にあります。



【第4回受賞者会合（箱根）の様子】



【第5回受賞者会合（ベセスダ）の様子】



【第9回受賞者会合（東京）の様子】

第10回受賞者会合は、2010年10月にトリバンドラム（インド）、モントリオール（カナダ）（2011年）、2012年度は大韓民国で開催予定です。



【第11回受賞者会合（モントリオール）マギル大学の風景】

また2010年度より、基礎生物学の進展にとってブレイクスルーとなる研究成果を上げた研究者に対して授与される**中曽根賞（Nakasone Award）**が創設されました。第1回はカール・ダイソロート博士（スタンフォード大学生命工学部・精神医学部准教授）が決定し、第10回HFSP受賞者会合において表彰及び記念講演が行われました。



【第1回中曽根賞受賞の様子】



【中曽根メダル】